

調査区1 墳丘と地山



調査区1 墳丘端部の石材の集中



調査区3 周溝と墳丘の削平状況



調査区3 近代の池と石材の検出状況



調査区5 周溝の検出状況

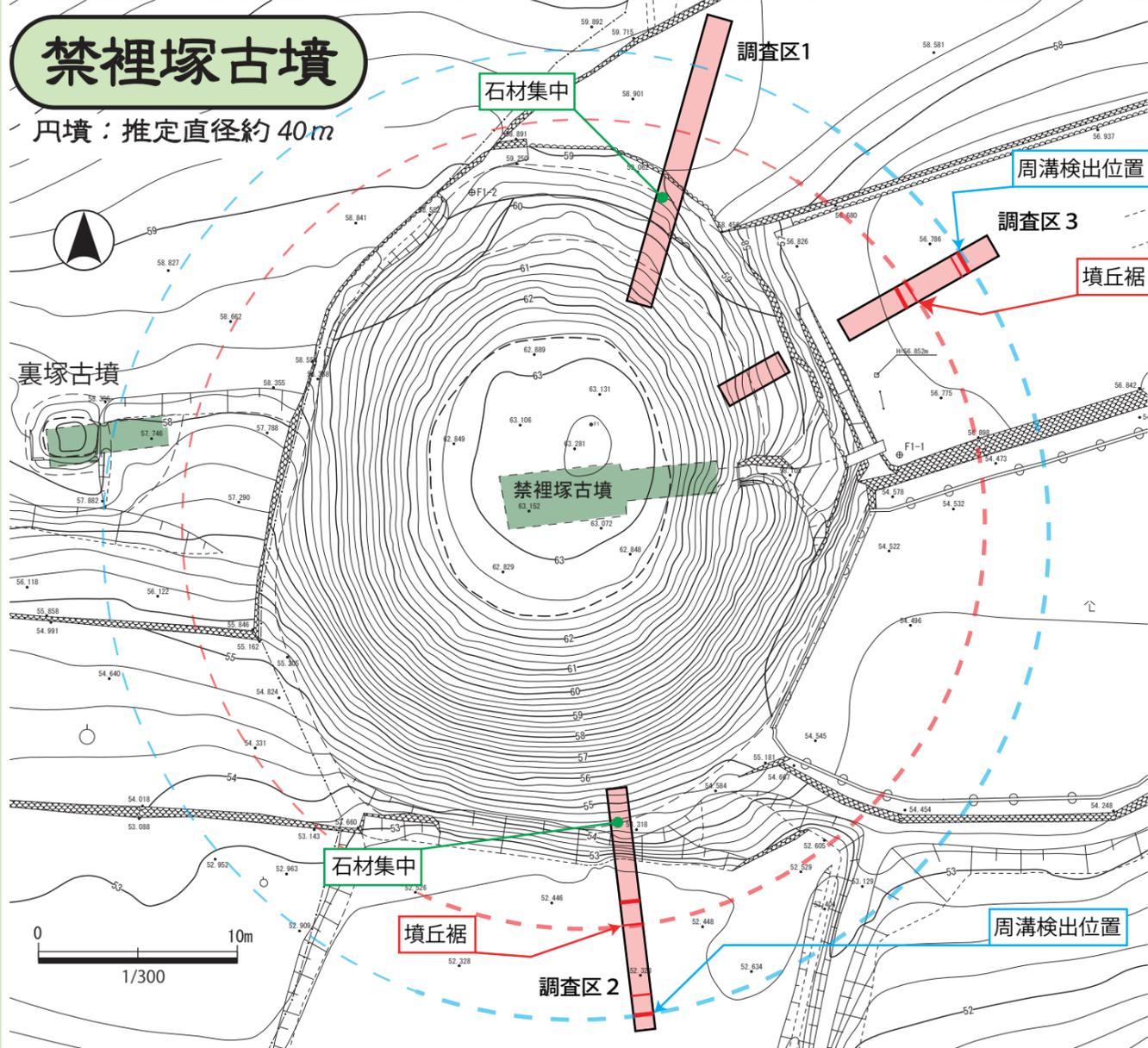


調査区7 周溝の検出状況



# 禁裡塚古墳

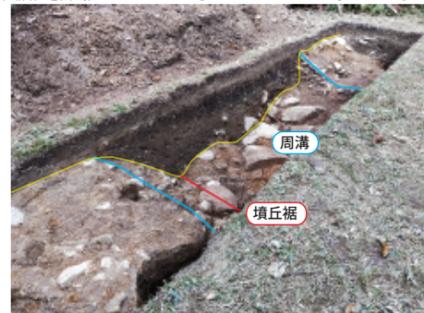
円墳：推定直径約40m



調査区2 墳丘と周溝



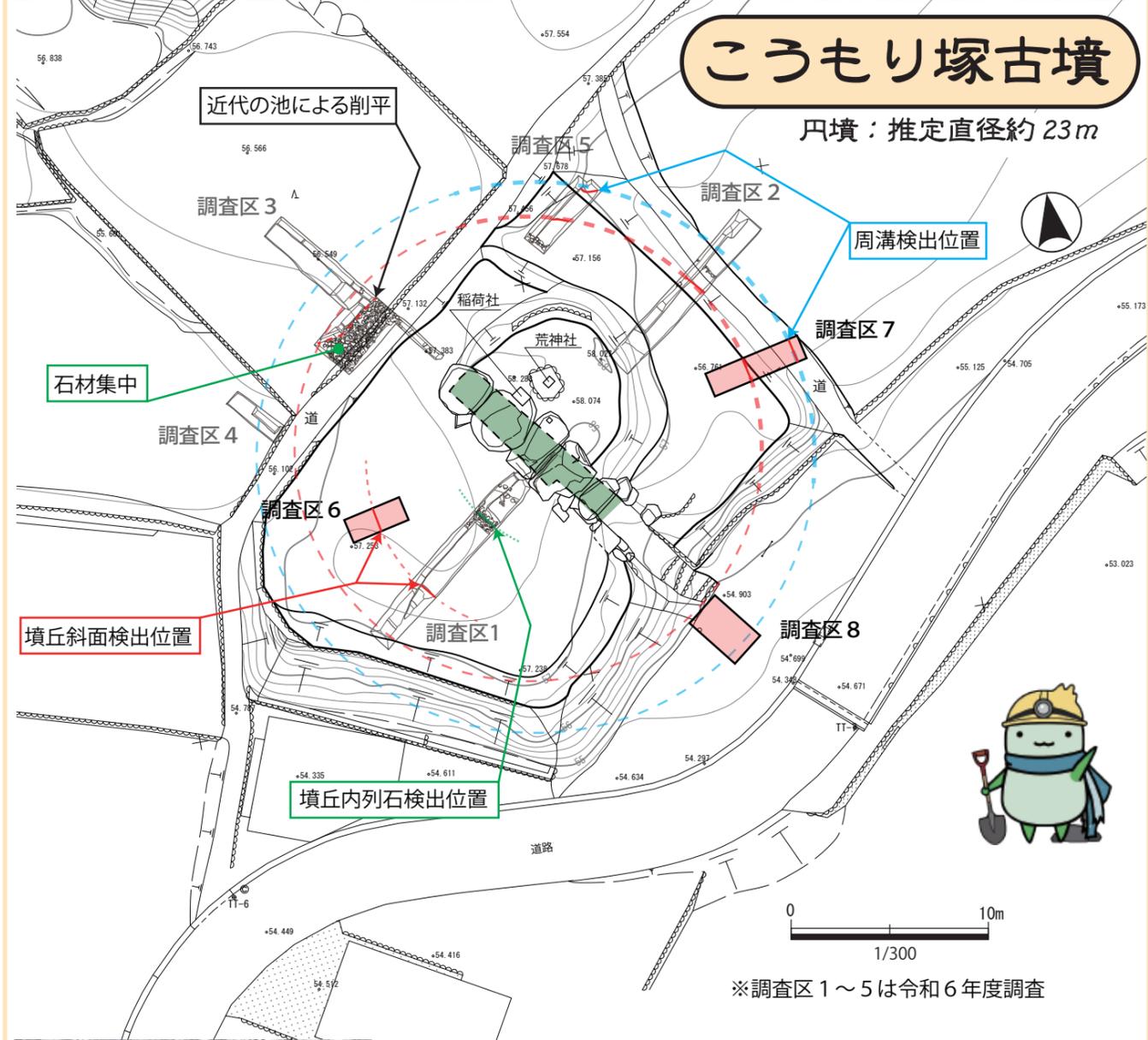
調査区2 周溝の断面



調査区3 周溝の断面

# こうもり塚古墳

円墳：推定直径約23m



調査区6 墳丘斜面と後世の埋立



調査区1 墳丘斜面と後世の埋立



調査区1 墳丘内列石



※調査区1～5は令和6年度調査

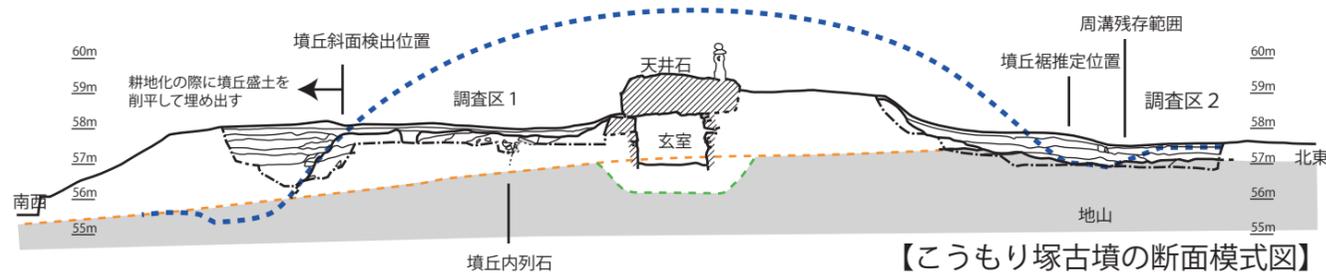
こうもり塚古墳

こうもり塚古墳は大藪古墳群の大型古墳の中で最後に築造された古墳と考えられています。周囲を含めて畑や水田として大きく改変を受けており、墳丘上部の盛土が失われ、石室の天井石が露出しています。墳丘の形状はよくわかりませんが、現在の長方形の地割りなどから、一辺 23 ～ 28m 程度の方墳であると考えられてきました。

古墳の規模・形状を確認するため、令和 6 年度に初めてこうもり塚古墳の発掘調査を実施し、古墳の周溝や盛土、墳丘内列石の一部を確認するとともに、現在の地形・地割りが後世の開墾に伴うものであることが判明しました。また、周溝や墳丘盛土の状況から方円墳である可能性が高くなりました。

令和 7 年度は墳形の確認を目的として調査を実施しました。調査区 6 では調査区 1 と同様に墳丘盛土と耕地拡大のための盛土を確認し、調査区 7 では古墳の周囲にめぐらせる幅 3.8m、深さ 0.5m の周溝を確認しました。調査区 8 では耕作土等を除去すると平坦な地山（古墳築造前の土層）であり、周溝等の古墳に伴う遺構は確認できません。

こうもり塚古墳は令和 6 年度・7 年度の調査から、推定直径約 23m の円墳であることが判明しました。



禁裡塚古墳

禁裡塚古墳は大藪古墳群の大型古墳の中で最初に築造された古墳と考えられ、古墳時代後期では但馬地域最大の墳丘と横穴式石室をもつ古墳です。古墳の周囲は畑や水田、池（養鯉）となっており、大きな改変を受けていますが、現況から直径約 32 ～ 35m、高さ約 9m の円墳と考えられてきました。

古墳の規模・形状を確認するため、令和 7 年度に初めて墳丘の発掘調査を実施しました。調査区 1 では近代以降の耕作により、古墳の周囲をめぐる周溝は確認できず、墳丘裾は削平を受けています。調査区 2・3 も墳丘裾は削平されていますが、調査区 2 では幅 5.5m、深さ 0.8m、調査区 3 では幅 3.6m、深さ 0.6m の周溝を検出しました。また、調査区 1・2 の墳丘縁辺部では、盛土内に多くの石材が集中している状況が確認されました。こうもり塚古墳のような明確な墳丘内列石は確認していませんが、これらの石材も人為的に据えられた墳丘の構築に伴う遺構です。

今回の調査では 2 か所の調査区で周溝を確認し、墳丘裾は削平されていることがわかりました。また、遺構の検出状況や土層の検討から、古墳は北から南に延びる丘陵上、周囲より少し高いところを選んで造られていました。周溝の検出位置によって禁裡塚古墳の規模は従来の想定よりも大きく、直径約 40m の円墳であることが判明しました。

養父市は朝来市とともに、4 世紀後半から 7 世紀中頃に南但馬で築造された大型古墳を「(仮称) 朝来・養父古墳群」として、国指定文化財を目指して学術的な重要性を調査しています。

大藪古墳群の調査について一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和 7 年度  
 県史跡こうもり塚古墳・禁裡塚古墳  
 ～大藪古墳群の発掘調査現地説明会資料～  
 2025(令和 7)年 12 月 6 日  
 養父市教育委員会 歴史文化財課  
 〒667-1105 兵庫県関宮 613-6  
 TEL : 079-661-9042 FAX : 079-667-2277

# 令和 7 年度 県史跡こうもり塚古墳・禁裡塚古墳 ～大藪古墳群の発掘調査現地説明会資料～

大藪古墳群は、養父市大藪にある古墳時代後期から終末期（6 世紀から 7 世紀頃）を中心とする大規模な古墳群で、東西約 1.5 km、南北約 1 km の範囲に 150 基ほどの古墳が造られています。

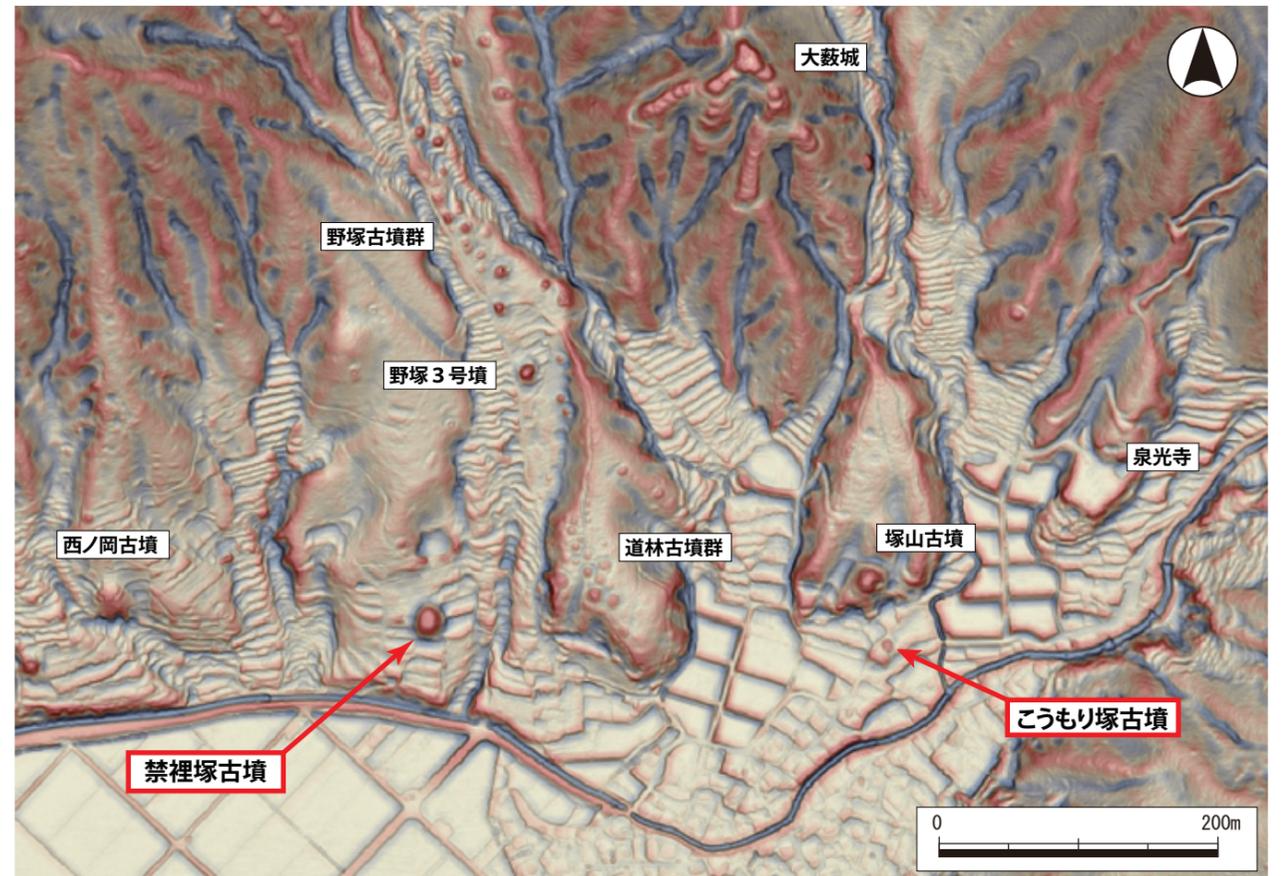
大藪古墳群には、こうもり塚古墳、塚山古墳、禁裡塚古墳、西ノ岡古墳の 4 基の大型古墳があります。また、大藪古墳群のなかには、道林古墳群、野塚古墳群など古墳のまとまりがあります。

大藪古墳群の 4 基の大型古墳は 6 世紀後半から 7 世紀中頃にかけて禁裡塚古墳、塚山古墳、西ノ岡古墳、こうもり塚古墳の順番で次々と築造されました。これらの古墳は、但馬地域でも最大級の横穴式石室をもつ古墳であり、この時期、養父地域に但馬最大の政治権力が存在した証拠といわれ、兵庫県指定文化財になっています。

今回の調査は、こうもり塚古墳・禁裡塚古墳の規模・形状を確認することを目的に実施しました。



但馬最大の石室をもつ禁裡塚古墳



大藪古墳群赤色立体図(S=1/6000)